

| |
|----------------------|
| 健康福祉委員会 令和3年4月15日 |
| 福祉部 資料2番 |
| 所管 福祉管理課 |

令和2年度大田区子どもの生活実態に関するアンケート調査の結果
及び次期おおた 子どもの生活応援プランの策定スケジュールについて

1 調査の目的

令和4年度から令和8年度を計画期間とする次期「おおた 子どもの生活応援プラン（大田区子どもの貧困対策に関する計画）」策定の基礎資料とするため、子どもの生活実態及び貧困対策に関する現状、新型コロナウイルス感染症拡大による子どもの影響等を把握することを目的として実施した。

2 調査対象及び回答数等

| | |
|--|---|
| 子どもの生活実態調査（保護者票）（以降、「小5保護者アンケート」と表記） | |
| 実施期間 | 令和2年9月16日（水）～10月16日（金） |
| 調査対象 | 区立小学校のすべての小学5年生の保護者 4,853名 （児童1名につき1票） |
| 実施方法 | 学校を通じて配付及び回収 |
| 調査項目 | 家庭の経済状況や就労の状況、子どもとの関わりの状況、 新型コロナウイルス感染症拡大における影響 など |
| 回答数 （回答率） | 実回答数・回答率 4,203件・86.6%（前回：76.3%） 有効回答数・回答率 4,095件・84.4%（前回：73.2%） |
| 子どもの生活実態調査（子ども票）（以降、「小5子どもアンケート」と表記） | |
| 実施期間 | 令和2年9月16日（水）～10月16日（金） |
| 調査対象 | 区立小学校のすべての小学5年生 4,853名 |
| 実施方法 | 学校を通じて配付及び回収 |
| 調査項目 | 学習の状況や放課後の過ごし方など生活の様子、健康状態、 新型コロナウイルス感染症拡大における影響 など |
| 回答数 （回答率） | 実回答数・回答率 4,197件・86.5%（前回：76.2%） 有効回答数・回答率 4,176件・86.0%（前回：75.9%） |
| ひとり親家庭の生活実態に関する調査（以降、「ひとり親家庭アンケート」と表記） | |
| 実施期間 | 令和2年9月4日（金）～9月25日（金） |
| 調査対象 | 令和2年度の児童育成手当受給世帯のうち、無作為に抽出した 2,000世帯 |
| 実施方法 | 郵送による配付及び回収（御礼兼督促を1回実施） |
| 調査項目 | 家庭の経済状況や就労の状況、公的支援の利用状況、 支援ニーズ、新型コロナウイルス感染症拡大における影響 など |
| 回答数 （回答率） | 実回答数・回答率 877件・43.9%（前回：45.3%） 有効回答数・回答率 843件・42.2%（前回：41.5%） |

| おおた 子どもの生活応援プランに関する活動状況等調査 | |
|----------------------------|--|
| 実施期間 | 令和2年9月18日（金）～10月9日（金） |
| 調査対象 | 大田区民活動情報サイト登録団体（自治会・町会除く）、 大田区社会福祉法人協議会参加法人 467件 |
| 実施方法 | 郵送・電子メールによる配付・回収 |
| 調査項目 | 活動団体の基本情報、プランに関連する団体の活動状況、活動の検討状況、子ども・家庭に必要な支援等に関する意見 など |
| 回答数 | 実回答数 111件（前回：144件） 有効回答数 106件（前回：141件） |

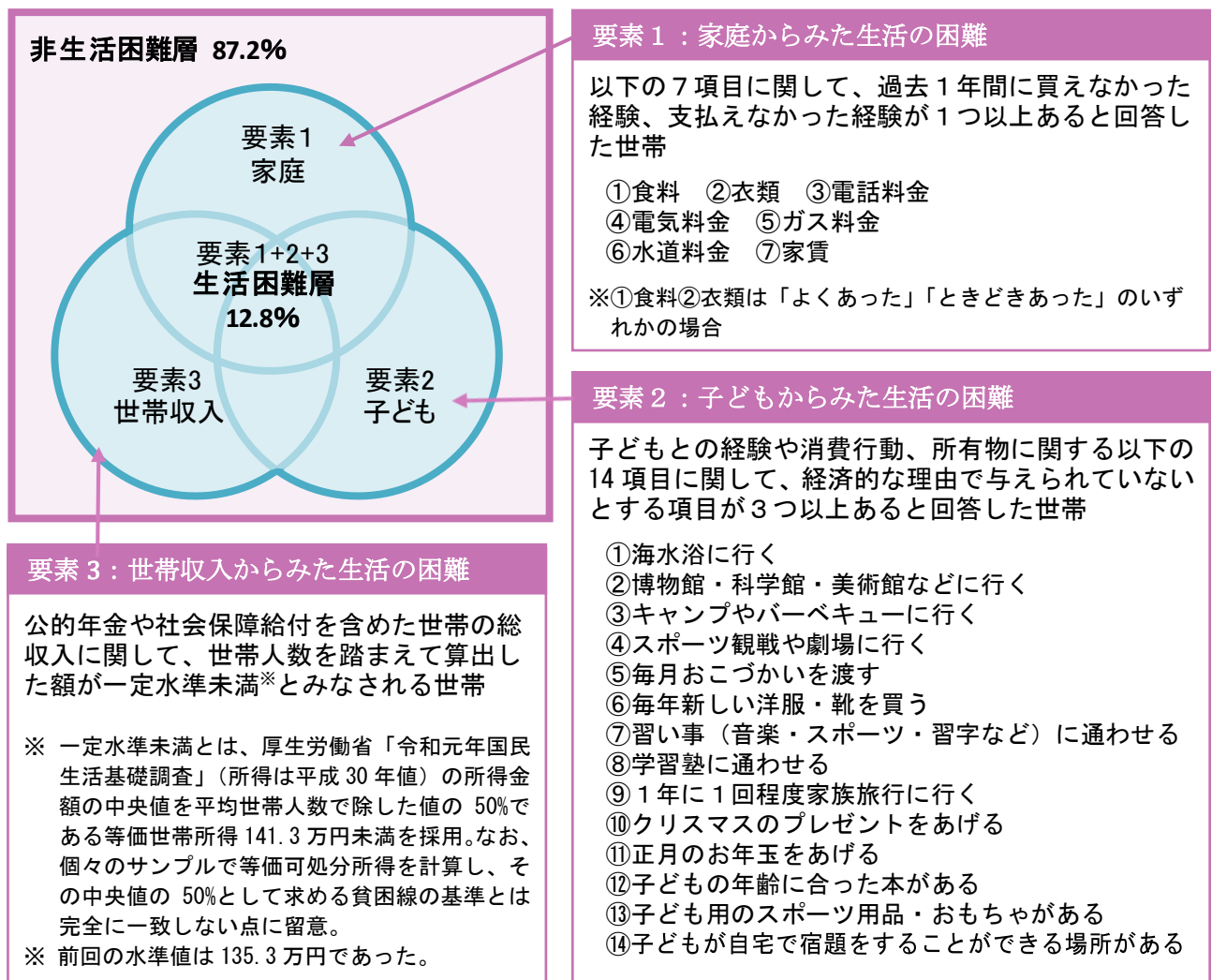
※（ ）内の前回調査の数字は、「小5子どもアンケート」「小5保護者アンケート」「ひとり親家庭アンケート」は平成28年度調査の数値、活動状況等調査は平成29年度調査の数値。

3 調査結果

(1) 区における生活困難層の定義

子どもの生活実態調査の結果を基に、以下の3つの要素に着目し、これらのうちいずれか1つ以上に該当する場合を「生活困難層」、いずれの要素にも該当しない場合を「非生活困難層」と分類した。その結果、12.8%が生活困難層に該当した。平成28年度調査（以下、「前回調査」という。）時と比べ、8.2ポイント減少した。

「生活困難層」の定義のイメージ図



(2) 調査報告書及び結果概要

ア 大田区子どもの生活実態に関するアンケート調査報告書

(ア) 子どもの生活実態調査 (保護者票)

(イ) 子どもの生活実態調査 (子ども票)

(ウ) ひとり親家庭の生活実態に関する調査

(エ) おおた 子どもの生活応援プランに関する活動状況等調査

イ 大田区子どもの生活実態に関するアンケート調査結果概要

(3) 大田区子どもの生活実態に関するアンケート調査結果概要の主なポイントについて

ア 小5保護者アンケート設問 19 世帯の年間収入 (7 ページ)

世帯の平成31年1月から令和元年12月までの年間収入(税込)を尋ねた設問に対して、「800万円以上」の回答割合は全体で42.8%であった。また、200万円未満の回答割合は全体で3.5%であった。前回調査結果(全体)と比較すると、「800万円以上」の回答割合が約10ポイント高くなっていた。

イ ひとり親家庭アンケート設問 32 暮らし向き (11 ページ)

現在の暮らしの状況を総合的にみてどうかという設問に対して、「大変苦しい」と回答した割合は18.1%、「やや苦しい」と回答した割合は49.3%であった。前回調査(全体)と比較すると、「大変苦しい」の回答割合が約8ポイント低くなっていた。

ウ 小5保護者アンケート設問 32 経済的理由のために世帯にないもの (21 ページ)

経済的理由のために世帯にないものを尋ねた設問に対して、生活困難層では、「オンラインでの学習に使えるパソコン・タブレット」が38.0%、「スマートフォン」が24.4%、「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」が23.0%であった。

エ 小5子どもアンケート設問 27 将来の夢の有無 (23 ページ)

将来の夢の有無について尋ねた設問に対して、「ある」と回答した割合は、全体で76.7%であった。前回調査(全体)と比較すると、将来のゆめが「ある」と回答した割合が約5ポイント低くなっていた。

オ ひとり親家庭アンケート設問 27 (2) 新型コロナの影響 (73 ページ)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令の前後で世帯の月間収入がどのくらい変わったかを尋ねた設問に対して、「減少した」という回答を合わせた割合は40.8%であった。

カ 小5保護者アンケート設問 24L 新型コロナの影響 (74 ページ)

新型コロナウイルス感染症拡大のための公立小学校臨時休業によって、「家庭内のストレスが高まった」かに対して、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合を合わせると、全体では37.7%、生活困難層では40.7%であった。

4 計画策定スケジュール (予定)

| スケジュール | 内容 |
|----------------|------------------------------|
| 令和3年 4月～6月頃 | 生活実態調査の詳細分析、ヒアリング調査 |
| 7月～ | おおた 子どもの生活応援プラン推進会議 (3回開催予定) |
| 12月頃 | 計画素案について区民説明会、パブリックコメントの実施 |
| 令和4年 3月末 | 計画決定 |